

南三陸 復興まちづくり通信

第6号(平成26年12月発行)



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。法人化を機会に、町内外の皆さまに活動の内容をご理解いただき、共に地域の再建への道を歩んでいくために『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



(仮称) 町立南三陸病院・総合ケアセンター完成予想パース (東側全景)

南三陸病院新築工事順調

～気仙沼・本吉地域初の免震装置導入～

南三陸町が来年末の開院を目指して整備を進めている町立南三陸病院・総合ケアセンター(仮称)の建設工事が順調に進んでいます。

南三陸病院(診療科目10科、病床数90床)は、敷地面積が29,054㎡、鉄筋コンクリート3階建てで、延べ床面積は12,271㎡です。

同病院には当地方の公共施設で初の免震装置が導入されています。地震による振動エネルギー(ゆれ)を直接建物に伝えないようにする装置で、東日本大震災と同規模の地震にも耐えられるような特殊構造です。これにより、災害時の救急医療機能が大幅に向上することが期待されます。今年5月に契約し、工期は平成27年10月31日。まもなく基礎工事が終わる見込みで、年明けには建物上部躯体など本格的な工事が始まります。



講話をする須藤美代子さん(=写真右端)

災害公営住宅支援の勉強会開催

復興みなさん会の12月定例会が1日午後、平成の森「小会議室」で行われました。協議終了後、南三陸町社会福祉協議会被災者生活支援センター事業課長の須藤美代子さんを講師に招き、勉強会を開催。「復興公営住宅に向けた被災者生活支援センターの取り組みについて」をテーマに講話をしていただきました。講話の後には、災害公営住宅におけるコミュニティ形成と支援の在り方について幅広く意見交換が行われ、お互いの活動についての理解を深めました。



周辺地域のお役立ち情報を出し合ったマップづくり

地域に溶け込むきっかけに

～復興住宅入居者らが周辺マップづくり～

町内初の災害公営住宅として約 50 世帯が暮らす「町営入谷復興住宅」で 12 月 6 日、住宅周辺のマップづくりが行われました。

町内各地から集まる入居者が地域に溶け込み、便利に生活できるようにと、トヨタ財団の支援を受けて復興みなさん会が企画しました。入居者や地域住民など約 20 人が参加し、必要な情報やアイデアを出し合いました。



ポットに植え込んだツバキの種に水をやる子どもたち

早く芽を出してね、ツバキさん！

～戸倉小学校でツバキのポット苗づくり～

戸倉小学校の 1, 2 年生が 11 月 19 日、ツバキのポット苗づくりに挑戦しました。種は復興みなさん会が提供しましたが、南方仮設で暮らす住民が、10 月に戸倉で種拾いをして集めたものです。子どもたちは、会のメンバーの手ほどきを受け、慣れない手つきながらも、ポットにていねいに植え込みました。最後に自分の名札をさして、水やりをしました。



作業終了後「長生き坂」で笑顔の記念撮影

チューリップ植栽と会食で交流

平成の森仮設住宅で 11 月 30 日、チューリップの植栽が行われました。草花の愛好会と復興みなさん会が、交流を図り、絆を深めようと企画したもので、仮設で暮らす住民 19 人が参加。豊岡市但東町から贈られた球根を、「長生き坂」の愛称で親しまれている坂道のそばに植えました。作業終了後は、「カフェあづまーれ」を会場に、持ち寄った野菜などで作った豚汁を味わい、楽しく交流しました。

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山 26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

当法人は、本年度の宮城県震災復興担い手 NPO 等支援事業の助成金を受けて、活動を行っています。